

「旧円通寺客殿（旧木村家住宅主屋）保存活用計画」の変更について

1. 趣旨

平成 28 年2月、「横浜市魅力ある都市景観の創造に関する条例」に基づき、旧円通寺客殿(旧木村家住宅主屋)が特定景観形成歴史的建造物に指定され、その保存及び活用の促進に関する計画について定めた「旧円通寺客殿(旧木村家住宅主屋)保存活用計画」が策定されました。

この度、平成 28 年9月から開始した公園整備事業における公園基盤整備及び客殿の解体・復元工事等が完了し、令和4年4月に「金沢八景権現山公園」が開園します。公園整備工事に伴い行われた地下遺構調査結果及びその他の工事内容等を保存活用計画に反映させるため、その変更内容について報告します。

2. 旧円通寺客殿について

(1) 位置

所在地:横浜市金沢区瀬戸 20 番3号



(2) 建物概要

構造:木造平屋建て 寄棟造茅葺き、式台付
規模:建築面積 143.15 m²、最高高さ 9.36m
建築年:江戸時代後期から末期



3. これまでの経緯

過去の審議および事業の経過は以下の通りです。

時期	内容	備考
平成 28 年1月	第 28 回都市美対策審議会景観審査部会 (特定景観形成歴史的建造物の指定に関する意見 について(審議))	決定事項:保存活用計画をもって旧円通寺客殿(旧木村家住宅主屋)を特定景観形成歴史的建造物として指定する。
平成 28 年2月	特定景観形成歴史的建造物に指定 保存活用計画を策定	
平成 28 年9月 ～令和4年3月	旧円通寺客殿解体・復元工事、基盤整備工事開始 金沢八景権現山公園整備工事完了	詳細は資料3-2参照
令和4年3月	第 67 回都市美対策審議会景観審査部会 (特定景観形成歴史的建造物における保存活用計 画の変更について(報告))	

4. 旧円通寺客殿(旧木村家住宅主屋)保存活用計画 変更点の概要

公園整備工事に伴い行われた資料調査、建築調査(痕跡等)、遺構調査等を通して新たに判明した事項や、旧円通寺客殿(旧木村家住宅主屋)を公園施設として利活用するために必要な事項を追記しました。

なお、変更にあたっては歴史的景観保全委員(専門:日本建築史、古建築保存修復)である大野敏先生にご意見を頂き、反映しています。主な変更点は以下の通りです。

表 旧円通寺客殿(旧木村家住宅主屋)保存活用計画の主な変更点

変更内容	変更箇所
<ul style="list-style-type: none"> 資料調査、建築調査(痕跡等)、遺構調査等が行われ新たに判明した事項の追加 	1 名称及び概要 (5) 建築年代 (p9) (11) 歴史的建造物としての特徴 (p9-12) (12) 歴史的建造物の価値 (p13-15)
<ul style="list-style-type: none"> 事業経過の追加 	(13) 保存事業履歴 (p15-17)
<ul style="list-style-type: none"> 資料調査、建築調査(痕跡等)、遺構調査等で新たに判明した事項を踏まえ「保存部分」「保全部分」の範囲を変更 	3 保存及び活用に係る目標及び方針 (3) 計画の概要 ア 保存管理 (p19)
<ul style="list-style-type: none"> 景観や地下遺構に配慮して整備した公園を適切に維持・活用する方向性で、保存及び活用に係る目標及び方針を記載 	(3) 計画の概要 イ 環境保全 (p23)
<ul style="list-style-type: none"> 整備された防火設備の記載および定期点検の実施について記載 定期的な防災訓練、避難勧告、避難誘導について記載 復元後の客殿の耐震性能について記載 	(3) 計画の概要 ウ 防災 (p27)
<ul style="list-style-type: none"> 利活用に向けて、建築基準法や消防法、食品衛生法、横浜市福祉のまちづくり条例での取り扱いを記載 火気の扱い(裸火厳禁)を整理し記載 	(3) 計画の概要 オ 活用条件の整理 (p31)
<ul style="list-style-type: none"> 具体例を追加し章立てを変更 	4 現状変更の規制及び保存のための措置に関する事項 (p33)
<ul style="list-style-type: none"> 敷地内掘削を伴う工事に関する手続きの追加 手続き及びその他の報告を要さない行為の追加 	5 その他、当該特定景観形成歴史的建造物の良好な保存及び活用を図るために必要な事項 (p35)

事業概要資料

金沢八景権現山公園整備・旧円通寺客殿（旧木村家住宅主屋）復元事業

■公園整備概要

本公園は、「自然環境・景観」「歴史」「地域のコミュニティ」の3つの要素について整備方針を定め、「地域の歴史や自然を通して人々が集い、地域の魅力を継承、創造する場」を計画のテーマにし、整備しています。

整備内容としては、公園基盤整備（造成、擁壁、植栽、設備配管、防災・防犯設備など）に加え、江戸時代後期から末期に建てられた旧円通寺客殿（旧木村家住宅主屋）の解体・復元、及び管理休憩棟の新築を行っています。



■金沢八景権現山の歴史

現在整備中のこの公園は、江戸時代は円通寺境内でした。背後に背負う御伊勢山・権現山は昔からの地形が残された郷土の森です。茅葺き屋根の旧円通寺客殿と御伊勢山・権現山が織りなす景観は、往時の金沢八景の情景を今に伝えています。

江戸時代の地誌、『相中留恩記略』には東照宮と



『相中留恩記略』
「卷之二十三 金澤 御宮」
福原家本 藤沢市指定文化財
藤沢市文書館蔵 天保10年
著福原高峯(1792～1868)
絵 長谷川雪堤(1819～82)

別当円通寺が描かれています。公園整備にあたり、客殿と周辺の発掘調査をした結果、客殿の西側に規則的に並んだ基礎石が発見されました。詳しい境内の様子は分かりませんが、複数の建物があったことが分かりました。基礎石は土の中に残り、展示等で往時の様子を伝えていきます。

■旧円通寺客殿復元工事概要

横浜市は、平成27年(2015)木村家から本建物の寄贈を受けました。平成28年には横浜市特定景観形成歴史的建造物に指定され、歴史的建造物の価値を残したまま、建物の利活用をするための整備を行うこととなりました。

公園等の整備を行うため、一度手壊して建物の部材を解体保管し、敷地整備後、解体した部材を用いて歴史的、景観的価値を損なわないよう復元を行っています。復元にあたっては、耐震性を確保する補強等を実施するとともに、防犯・防災にも配慮した工事を実施しました。

■旧円通寺客殿の歴史

旧円通寺は、かつて同じ敷地内に祀られていた東照宮の別当寺でした。その客殿は東照宮に詣でる上客を迎える客殿として使われていたと考えられています。創建を示す資料はありませんが、享和2年(1802)あるいは天保14年(1843)に東照宮が再建あるいは修復された時に客殿も同時に整備されたものと思われます。

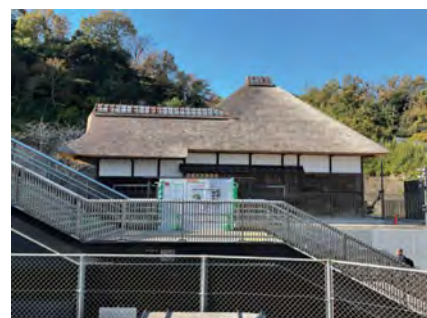
明治維新後、廃仏毀釈によって廃寺になったあとは、円通寺の住職木村家の主屋として使われてきました。

客殿は5.5間四方の主体部に2.5間×2間の式台玄関を突き出した平面形状をしています。室内は客人の接客のための場、従者のための場などの機能で構成されています。

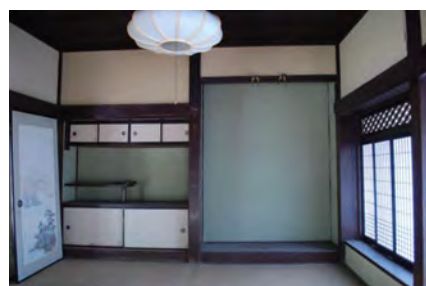
茅葺の外観から、古民家風にも見受けられますが、式台玄関がある点や、座敷に釘隠しを備えた長押や、床・棚・書院といった座敷飾りが施されるなど、書院造りを意識した客殿になっています。



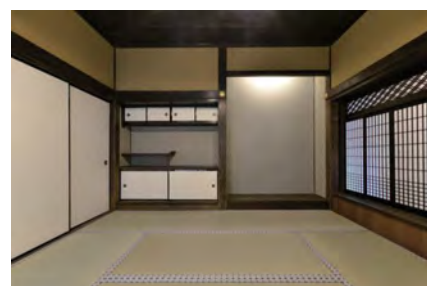
解体保存前 旧円通寺客殿（外観）



復元工事後 旧円通寺客殿（外観）



解体保存前 旧円通寺客殿（内観）



復元工事後 旧円通寺客殿（内観）



解体保管状況（小屋組）
部材はほぼ創建時のものが残っていました



部材補修状況（柱材）
解体した部材は一本ずつ確認し、破損・腐朽している箇所を補修します



防災設備の設置（下：炎検知器、上：放水銃）
本工事では、自動火災報知設備、炎検知器、放水銃等防災設備・防犯設備を整備します



管理休憩棟（休憩室）
公園の管理、休憩施設として、管理休憩棟を新築し、旧円通寺客殿と一体的な活用を行います



解体保管状況（軸組）
部材は一本ずつ手壊して解体しました



部材補修状況（根継ぎ柱）
破損・腐朽した部材も原則新規材で継ぐなど、補修を行い再利用します



新設鉄筋コンクリート基礎（鉄筋配筋状況）
本工事では、当初基礎石を残し、その上に鉄筋コンクリート基礎を新設します



耐震補強（耐震壁の設置）
意匠を損なわないよう耐震補強を行い、建物の安全性を確保します

■公園概要

公園区分：特殊公園（風致公園）主として風致を享受することを目的とする公園で、樹林地、水辺地等の自然条件に応じ適切に配置する

所在地：金沢区瀬戸20番3号 面積：5305.34㎡

整備内容：金沢八景権現山公園 →造成、擁壁、植栽、参道階段、外構配管、防災・防犯設備など

旧円通寺客殿（旧木村家住宅主屋） →解体、復元
管理休憩棟（管理・休憩・便益施設） →新築

■建物概要

種類：古民家

設計・施工：不詳

構造・規模：木造平屋建て、寄棟造茅葺き、下屋ガルバリウム鋼板葺き
桁行5.5間、梁間5.5間、妻側に2.5間×2間の式台付

建築年：江戸時代後期から末期

横浜市認定歴史的建造物の認定：平成9年3月6日

特定景観形成歴史的建造物指定：平成28年2月25日

■全体スケジュール

	2016年度 (平成28年)	2017年度 (平成29年)	2018年度 (平成30年)	2019年度 (令和元年)	2020年度 (令和2年)	2021年度 (令和3年)	2022年度 (令和4年)
公園整備工事	公園整備工事						
建築工事	旧円通寺客殿解体調査	石垣・埋蔵文化財調査				展示等製作 開園準備	令和4年4月 開園(予定)
			管理休憩棟新築工事		旧円通寺客殿復元工事		